

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和4年11月2日（火）

### 2 確認箇所

- ・プロセス主建屋
- ・4号機タービン建屋東側

### 3 確認項目

- (1) 廃スラッジ抜き出しのためのプロセス主建屋搬入口設置工事の状況
- (2) 4号機タービン建屋東側におけるクレーン撤去作業の状況

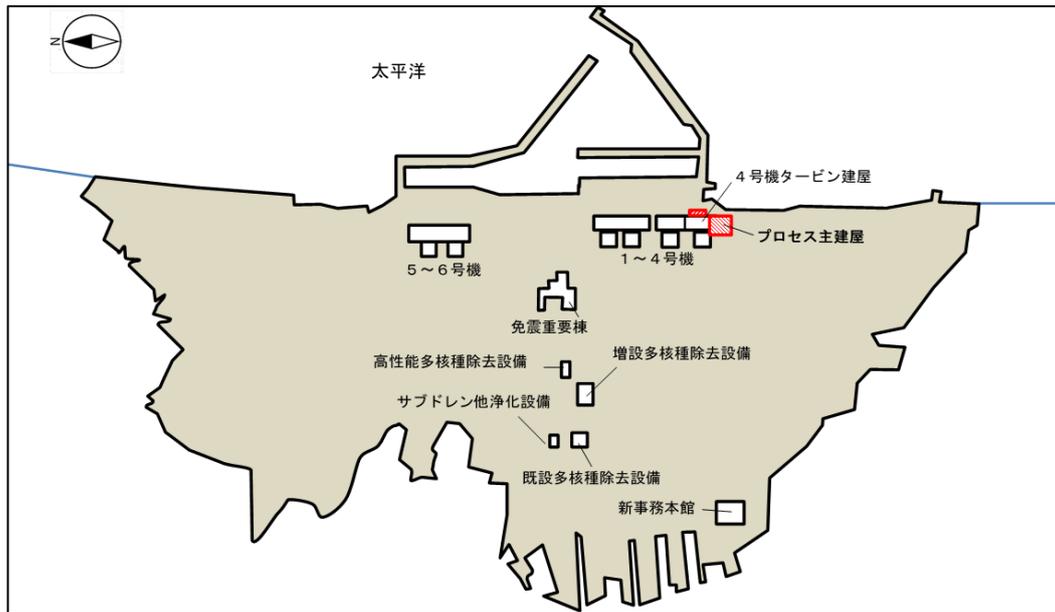
### 4 確認結果の概要

- (1) 廃スラッジ抜き出しのためのプロセス主建屋搬入口設置工事の状況について

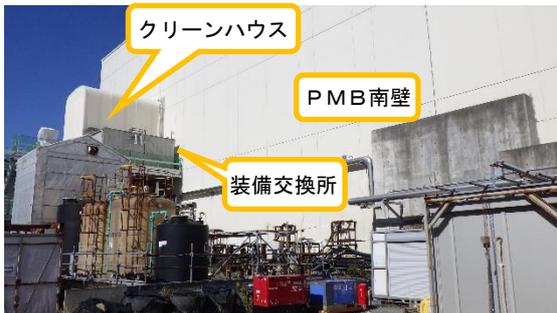
プロセス主建屋（以下「PMB」という。）南側で進められている廃スラッジ<sup>※</sup>回収施設の設置に向けた準備工事は、仮設構台、クリーンハウス及び装備交換所の設置工事が完了し、干渉物撤去用の遠隔操作重機や廃スラッジ<sup>※</sup>回収施設の機器を建屋内に搬入するための搬入口設置工事のうち、壁面開口工事が10月18日から開始されていることから、状況を確認した。（図1）（前回確認：[10月20日](#)）

- ・現地確認時には、クリーンハウスを間仕切りシートで区画した開口作業エリア内で壁面のコア抜き（穴開け）作業を実施していた。（写真1）
- ・ダストの飛散防止のため、局所排風機により空気をPMB内に押し込む措置がとられていること及び予備の局所排風機が配備されていることを確認した。（写真2）
- ・また、クリーンハウスの開口作業エリア内及びクリーンハウスの外のダスト濃度を連続監視しており、測定結果に顕著な差異がなく、警報設定値を十分に下回っていることを確認した。（写真3）

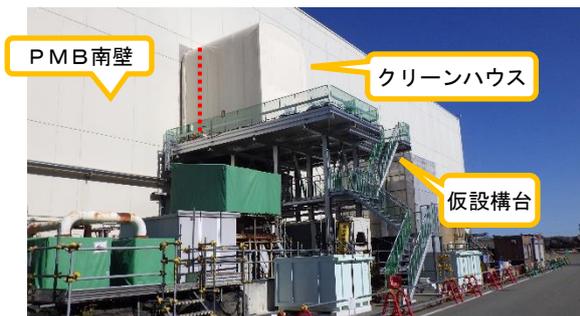
※廃スラッジ：震災で発生した汚染水を除染装置（平成23年6月～平成23年9月運転）で処理した際に生じた高線量のスラッジであり、PMBの地下貯槽に約37 m<sup>3</sup>貯留されている。当該スラッジはPMBに津波が到来した場合に漏えいするリスクがあることから、回収して高台に移送することとしており、廃スラッジ回収施設の設置に向けた準備工事が進められている。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)  
クリーンハウス等の概観①  
(東側から撮影)



(写真1-2)  
クリーンハウス等の概観②  
(南西側から撮影)

※クリーンハウスの赤破線からPMB南壁側が開口作業エリア



(写真 2 - 1)  
PMB 内に空気を押し込む局所排風機の設置状況



(写真 2 - 2)  
予備の局所排風機の配備状況



(写真 3 - 1)  
ダスト吸引ホースの設置状況

※赤点線矢印側が開口作業エリア



(写真 3 - 2)  
連続ダストモニタの稼働状況

(2) 4号機タービン建屋東側におけるクレーン撤去作業の状況について  
4号機タービン建屋東側において進められている東日本大震災の際に津波により被災し、動けなくなった550tクレーンの撤去作業の状況を確認した。(図1) (前回確認：9月26日)

- ・ 4号機タービン建屋側に仮置きされていた550 tクレーンはスーパーキャリア（多軸台車）に積載されていた。（写真4）
- ・ スーパーキャリアの荷台やクレーンのアウトリガー<sup>\*</sup>部はシート養生されていた。確認した範囲では油の漏えいは認められなかった。

（写真5）

※車体の横に張り出して接地させることにより転倒を防止する装置



（写真4-1）

550 t クレーンの状況

（前回(9月26日)北東側から撮影）



（写真4-2）

550 t クレーンの撤去状況

（今回(11月2日)北東側から撮影）



（写真5）

スーパーキャリア荷台及びアウトリガーの養生状況

## 5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。